

### 福津の極みとは？

市商工会が市の地域産業の活性化を図るため、市や宗像農業協同組合、宗像漁業協同組合、市観光協会に呼びかけて、平成二十一年度に福津ブランド「福津の極み」を商標登録しました。

昨年の九月に筑前津屋崎人形巧房の「津屋崎人形」など六商品、今年三月には、JAむなかたの「カリフラワー」など六商品が認定され、現在十二商品が「福津の極み」として認定されています（認定品は表紙に掲載しています）。どれも高い品質を誇り、厳しい審査を経て選ばれた逸品ばかりです。

これらの商品は、市内外で開催されるイベントなどに出品されていますが、店頭に並んでいる物もありません。見掛けたときには、ぜひ手に取ってみてください。

### 認定までの流れ

商工会事務局で受け付けた書類を、学識経験者や市商工会、市の担当事務局などで構成する福津の極み協議会が審査します。その後、料理研究家などで構成する福津の極

み認定審査委員会で、製造方法や原材料、由来や歴史などが深く福津市とかかわっているか、ブランド品としてふさわしい品質であるかなど、いろいろな面から審査を実施し、認定商品を決めます。

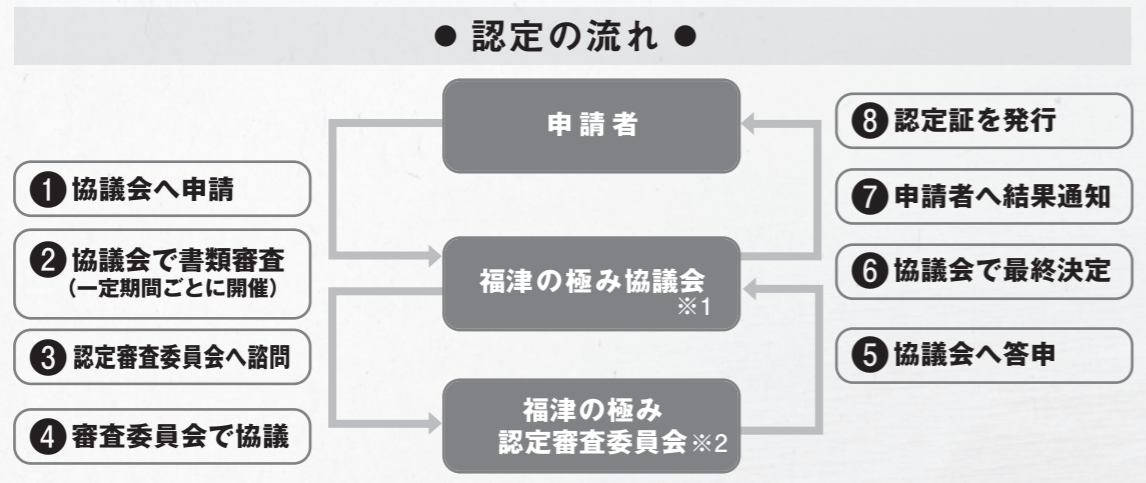
### 認定されるとどんなメリットが...

パンフレットの製作はもちろん、市や市観光協会、宗像農業協同組合、宗像漁業協同組合と連携し、市内外で開催されるイベントで宣伝したり、マスメディアを通じ、広く認知してもらうための活動を積極的に進めています。



▲昨年10月に開催されたRKB ラジオまつりにて

## 福津の極み® に認定されるまで



※1 福津の極み協議会とは  
福津市の特産品を福津ブランドとして、広く発信する方法を検討するための組織。学識経験者、宗像農業協同組合、宗像漁業協同組合、市観光協会、市商工会、市で構成されています。

※2 福津の極み認定審査委員会とは  
福津の極み協議会の諮問期間として組織。認定審査、商品の認定基準の維持などを審議します。学識経験者、メディア関係者、漫画家、歴史・文化の専門家、料理研究家、市民の8人で構成されています。

# 福津の極み®

豊かな海と山と歴史がはぐくんだ福津の生鮮品や加工品、伝統や技術を伝える工芸品などの地場産品を対象に、優れたもの、良いもの、福津らしさを表現したものを、福津ブランド「福津の極み」として認定しています。

今回の特集は、福津ブランド「福津の極み」についてお知らせします。